

跡見学園女子大学 学報



カワヅザクラ(河津桜) 新座キャンパス

この3月末をもって現行の3学部体制が終了し、4月からは、文学部臨床心理学科が心理学部臨床心理学科として独立し、4学部体制という新たなステージが幕を開けます。

学校法人跡見学園の創立90周年を機に、昭和40(1965)年に文学部2学科の単科大学として開学した本学は、以来50余年を経て、4学部を有する大学へと発展いたしました。この50余年という半世紀のサイクルは、初めての東京オリンピック開催から今回の2回目のオリンピック開催までという期間と、ほぼ重なります。

オリンピックでは、50年が経過してもそのスポーツの精神は何ら変わるものではありませんが、開催都市の東京はあらゆる面で進化を遂げています。本学も同様です。跡見花蹊の教育の精神を継承しつつ、この半世紀の時代のニーズに的確に応えながら大きく発展してまいりました。本学の改革の成果にぜひご注目ください。

記事内容

- 地域連携と国際交流 ～回顧と展望～ 学長 山田徹雄
- 「開設！心理学部臨床心理学科」と「心理学部設立記念シンポジウム開催」…………… (2)
- 文学部 活動報告 ～卒業論文ポスター発表会～ ○マネジメント学部 活動報告 ～大盛況で開催したゼミ発表会～
- 観光コミュニティ学部 活動報告 ～埼玉高速鉄道株式会社との地域連携活動について～…………… (3)
- ゼミ紹介 ○CLUB NOW ……………… (4)
- 学生会情報 ○紫祭活動報告 ……………… (5)
- 英国国立スターリング大学との中長期留学に関する協定の締結について ○跡見校友会一紫会海外研修助成金について
- 春期海外研修のご紹介 ……………… (6)
- 「平成29年度 就職懇談会開催のご報告」 ○「就職戦線スタート！3月より3年生の就職活動が本格化！」… (7)
- 平成29年度 各種研究助成報告
- 平成29年度 マネジメント学部FDへの取組(FDワークショップ活動報告)…………… (8)
- 平成29年度 学内講演会等 開催報告 ……………… (9)
- 平成29年度 文の京ゆかりの文化人顕彰事業「朗読コンテスト」
- 本学のネットワークセキュリティについて ○地域交流活動のご報告 ー深化する地域とのつながりー …… (10)
- 平成29年度 心理教育相談所関連事業 ○図書館トピックス ○保護者説明会・後援会大学幹事会報告 … (11)
- 平成30年度 花蹊記念資料館展示スケジュール ○新年度オリエンテーション予定 ○春の行事予定
- 履修申請 ○桜まつり・オープンキャンパスのご案内 ○編集後記…………… (12)

地域連携と国際交流 ～回顧と展望～

学長 山田 徹 雄



私は、平成22年、2010年4月、嶋田学長の後任として学長職に就任しました。この8年間における「地域連携と国際交流」を回顧しつつ展望を示します。

毎年1月に、文京区長の主催する文京区内の学長懇談会が開催されています。そこでは、区内大学と区との連携実績が一覧表の形で提示されています。この会合に初めて出席した2011年には、跡見学園女子大学の連携事業は全く存在せず、居心地の悪さを痛感しました。

2012年から文京区主催の朗読コンテストへの協力を、本学コミュニケーション文化学科教員の支援のもとに実現しました。また、同年、災害時における母子救護避難所の提供に関する協定を区と締結したのは、その前年に起こった東日本大震災の教訓を踏まえてのことです。この2つの連携事業を皮切りに現在では、多方面にわたり文京区と提携事業を行っています。

2018年1月12日に開催された文京区内学長懇談会資料には本学との27件の連携事業が記載され隔世の感があります。その内訳は、協働のための体制づくり6件、生涯学習・文化芸術・スポーツ14件、学校教育1件、観光・国際交流1件、経済・産業・協働2件、福祉2件、健康・衛生1件です。

2018年の文京区内大学学長懇談会では、「それぞれの大学の特色を生かした・・・地域との連携が、東京2020大会におけるボランティア活動にもつながっていく」ことが指摘されました。本学は観光コミュニティ学

部を擁していることから、オリンピックに向けた地域連携を活発化すべきです。その点、観光・国際交流分野の連携がわずか1件に留まっていることを今後の課題として提起したいと思います。

一方、国際交流に関しては、学長就任時点において、海外を拠点とする語学研修の機会は無でした。まずは、国際交流の体制づくりのために、2013年に国際交流課を設置し、2名の職員を充て、この年、スターリング大学（英国）と基本合意書を取り交わし、学生を恒常的に語学研修に送る体制を整えました。以後、2014年には、ロイヤルローズ大学（カナダ）、国立政治大学（台湾）、2015年には西部カトリック大学（フランス）、ローワーコロンビアカレッジ（アメリカ）、2017年にはミュンヘン大学（ドイツ）において語学研修を行う礎を築きました。このうち、ワシントン州ロングビュー市のローワーコロンビアカレッジとの提携は、和光市が同市と姉妹都市であることを踏まえた地域連携をも見据えた国際交流事業です。

国際交流の次なる課題は、長期留学制度の確立です。2017年には、スターリング大学との中長期の留学プログラム協定を締結し、その第一歩を踏み出しました。しかし、教育課程に置かれた外国語科目のなかで、朝鮮・韓国語の研修拠点は確立できていません。

地域連携と国際交流における地道な、一層の展開を期待します。

「開設!心理学部臨床心理学科」と「心理学部設立記念シンポジウム開催」

文学部臨床心理学科 教授 松崎くみ子

2002年に開設された文学部臨床心理学科は、主にスクールカウンセラーの養成を目指して、基礎心理学と学校心理学、臨床心理学の各領域をバランスよく学ぶことができる講義科目と、学校現場に赴き体験的に学ぶ実習科目としての「カウンセリング実習」が特徴的な教育課程を編成していました。

一方、社会の流れとしては、2015年に公認心理師法が成立し、2018年度から初の心理職の国家資格である公認心理師の養成が始まる大きな転換期を迎えています。公認心理師は、教育領域だけではなく、医療・保健領域、福祉領域、司法・犯罪領域、産業・組織領域にわたる、幅広い領域での「心の専門家」としての貢献が求められています。

このような流れの中で、基礎的な心理学各領域の学び、現場における体験的な学びを大切にする、文学部臨床心理学科のこれまで15年間の実績を踏まえつつ、より幅広い領域における学びを実践できる教育課程を提供し、現代社会において「心の専門家」として心のケアができる人材を輩出することが、求められています。そしてその使命を果たすべく、2018年4月、現在の文学部臨床

心理学科は、新たに、心理学部臨床心理学科としての歩みを始めます。

この記念すべき心理学部設立年にあたり、本学文学部臨床心理学科に縁のある平木典子先生(元 日本家族心理学会会長)、鶴 光代先生(現日本心理臨床学会理事長)、野島一彦先生(本学教授・前日本心理臨床学会理事長)の3名の先生方をシンポジストとしてお迎えし、下記の日程でシンポジウムを開催いたします。3名のシンポジストの先生方は本学で教鞭を執って頂いただけではなく、日本の心理臨床学界のリーダーであり、国家資格公認心理師推進においても、最前線に立って運動を牽引してきた先生方です。3名の先生方が本学に在籍して頂いた事は、本学の文学部臨床心理学科および心理学部臨床心理学科において、大変な歴史であり、入学生、在校生、卒業生の大きな誇りです。

シンポジウム「跡見学園女子大学と臨床心理学 その未来へ」(仮題)に皆様是非ご参加下さい。

そして、4月からの心理学部臨床心理学科にご期待下さい。

心理学部設立記念シンポジウム「跡見学園女子大学と臨床心理学 その未来へ」(仮題)

開催日時：2018年5月20日(日) 14:00～16:00(予定)

開催場所：跡見学園女子大学文京キャンパス 2号館1階 プロッサムホール

シンポジスト：平木典子先生、鶴 光代先生、野島一彦先生

※参加への詳細については、HP等で後日ご案内いたします。

平成28・29年度 文学部 活動報告 ～卒業論文ポスター発表会～

文学部人文学科 教授 横田 恭三

文学部では、これまで毎年2月下旬に、臨床心理学科が中心となり卒業論文ポスター発表会を開催してきました。内容は、卒業論文のポスター発表にとどまらず、卒業論文そのものの発表ができる場を設け、さらには卒業制作の展示発表も行うなど、様々な形で学生の成果を発表できる場となっています。

昨年度は平成29年2月27日に開催、4年生の卒業論文のポスター発表、書道の卒業制作展示、3年生のプレ卒論研究など有志の学生による128もの発表となりました。

発表会の進め方は学会形式に準じたもので、自ら作成したポスターの前で、聴衆である学生や教員に対して自分の研究を説明します。知らない者同士でも、研究発表を通じて、会話がはずみ、そこかしこに人の輪ができます。4年生にとっては卒業研究の集大成、3年生にとっては初めて取り組んだ共同研究の場です。

この第4回の発表会には文学部だけではなく、他学部のゼミも参加しました。学部の垣根を超えた発表会は、違う学科の研究成果を見ることができ、とても有意義な発表会となりました。

なお、第5回卒業論文ポスター発表会は平成30年2月26日(月)文京キャンパスで開催しました。



昨年度のポスター発表会の様子

平成29年度 マネジメント学部 活動報告

～大盛況で開催したゼミ発表会～

マネジメント学部生活環境マネジメント学科 教授 宮崎 正浩

マネジメント学部では、3,4年生必修の「展開ゼミナール」(マネジメント学科)と「生活環境マネジメント学演習」(生活環境マネジメント学科)の活動の一環として、学部ゼミ発表会を毎年実施しています。平成29年度は12月16日(土)12:30～17:30、文京キャンパスのプロッサムホールで開催し、学部のすべての23ゼミが参加しました。

筆者としては、今回の発表会の中には専門分野の研究としてレベルが高い発表や、プレゼンテーション力に優れた発表が多数あり、全体としてはこれまでの発表会に比して各段にレベルが上がったとの印象を受けました。

背景としては、昨年度まで3～4ゼミに分かれて予選を行った後プロッサムホールでの本選を行い、予選で落ちたゼミの多くは本選に出席しなかったのに対し、今年度は全ゼミがプロッサムホールで発表すること、発表順を当日明かすなどの工夫で、学生のモチベーションや参加意欲が高まったのではないかと推察されます。

教員6名による審査の結果、第1位は石渡ゼミ(写真)、第2位は粟田口ゼミ、第3位は宮崎ゼミ、第4位は佐藤ゼミ、第5位は山田満ゼミとなりました。表彰式は第3位まで壇上で行い、ほとんどの学生が最後まで参加しており大盛況の会となりました。

なお、この学部発表会の企画、運営に当たった「ゼミナール協議会・学部発表会チーム」の皆様には心から感謝いたします。



平成29年度 観光コミュニティ学部 活動報告

～埼玉高速鉄道株式会社との 地域連携活動について～

観光コミュニティ学部コミュニティデザイン学科 准教授 篠崎 健司

観光コミュニティ学部では2年生を対象とする基礎ゼミナールにおいてインターンシップ(以下、学外実習)を必須としています。

平成29年度、本学として初めて埼玉高速鉄道株式会社に2名の学生を受け入れて頂き、学外実習を実施しました。埼玉高速鉄道株式会社とは昨年より、川口市鳩ヶ谷地区で行われた「日光御成道鳩ヶ谷宿夏の陣」というイベントを通じて本学科に期待を寄せて頂き、今年度より学外実習の運びとなったものです。

学外実習は、埼玉高速鉄道株式会社事業推進課にて、沿線地域の魅力発掘と創造をテーマとする課題を学生が考えるという内容で実施し、同鉄道利用者等へのグループインタビューや沿線情報提供ツール「とっておき情報」作成のための取材などを行いました。

なかでも駅周辺に居住する住民とともに同社が実質的な実施主体となっている「浦和美園まつり&花火大会(第3回)」にあたり、女子学生の目線で企画提案し実行したことは学外実習に参加した学生はもとより、当日に向けて様々な準備を行った1年生を中心とする学生にも貴重な経験となりました。

学生自らが企画した内容をお互いが協力しあいながら実現できたこと、さらに大勢の来場者の方々に楽しんで頂いたことは、学生にとってあまり経験のないことであったと思われまます。

関わった学生にとって、単なるイベント参加ではなく、地域やコミュニティの魅力を創造し、発信していくことの楽しさやすばらしさを体感し、今後の学びに活かせる様々な気づきを得ることができたのではないのでしょうか。

末尾になりましたが、ご協力頂いた埼玉高速鉄道株式会社のみなさまをはじめ関係者の方々には心から感謝申し上げます。

ゼミ紹介

吉田ゼミ(ポピュラーミュージック)

文学部現代文化表現学科 准教授 吉田 信夫

このゼミでは、主として、ポピュラーミュージックを扱っています。ただ、ポピュラーミュージックは、単独で発生・発展して来たものではないので、20世紀前半以降の生活様式の変化や、文学、映画、思想、ファッション等との関係の中で、音楽を理解するように努めています。場合によっては、生活様式や文芸思想や文学や映画やファッションが主で、音楽が従のこともあるかと思えます。なので、ゼミ生の卒業論文のテーマは、ロックやジャズやヒップ・ホップという音楽が特に多いわけではなく、アニメ・ソングやディズニー、アイドル、ファッション、映画、小説等、多岐に渡っています。また、「ジャズと映画や文学」「ファッションや生活様式や文学と音楽」「ヒップ・ホップとファッション」というように、音楽と音楽以外の他の複数分野を比較したり、繋げたりするものも多いです。

ゼミ生に望んでいることは、そのようなポピュラーカルチャーという大きな枠で、その繋がりを理解すること。そうすれば、メジャーでないカルチャーやマニアックなカルチャーも、その大きな全体の枠の中で客観的に理解することが出来るだろうからです。もう一つ、ゼミ生に望んでいることは、日本の大学生、或いは、東京の大学生という大きな全体、そこには、理科系の学生もいれば、音大の学生もいるし、法学部の学生もいれば、芸大の学生もいる。その大きな全体の枠の中での客観的な自分の立ち位置を把握してもらうことです。

安島ゼミ

観光コミュニティ学部観光デザイン学科 教授 安島 博幸

私の専門は、観光客を受け入れる観光地や観光施設を計画し、マネジメントすることです。ゼミでの学習についても、専門的な狭い領域にとらわれず、これから初めて観光学を学んでいくために必要な幅広い基礎知識と経験を得ることを目標に進めています。具体的には、私が観光計画に関わった地域・場所、例えば、浅草・東京スカイツリー、品川区、港区、目黒区など都内各区や川越、鎌倉、軽井沢など最近観光客が増えて話題になっている場所を視察・調査し、問題点があれば、解決策を提案していきます。さらに、施設運営の実践として、新座キャンパスのある新座市では、古刹・平林寺の近くを流れる野火止用水沿いで、オープンカフェを、文京キャンパスの近くに跡見が所有する樋口一葉ゆかりの旧伊勢屋質店では、古民家カフェを開いて訪れる方々と交流をしました。



旧伊勢屋質店で、古民家カフェを開きました

曾田ゼミ

マネジメント学部マネジメント学科 教授 曾田 修司

曾田ゼミ(3年生)では今年度、「チケット高額転売」問題に関する研究に取り組みました。この問題は昨年夏から日本の主要な音楽団体等が新聞紙上で意見広告を掲載したことがきっかけで多くの人の関心を集めました。ゼミ生の多くは、自分たちがファンクラブに入っているのにいつもチケットがまったく取れない現状をおかしいと思っていて、違法な転売は厳しく取り締まるべきだ、という意見を持っていました。研究を進めるうちに、チケット転売を「違法」とすることが法的には意外に難しいことや、いまやライブコンサートが音楽業界の主要な収益源になっていることなど、音楽業界に関する知識が広がりました。その後も、チケット転売をめぐる裁判で転売業者に詐欺罪が適用される有罪判決が出る(2017年9月22日神戸地裁)など、事態は大きく変化しており、この問題からは自分目が見えなくなりました。12月に開催されたマネジメント学部発表会でも、このテーマで発表を行いました。



CLUB Now

放送文化研究部

こんにちは。放送文化研究部です。

放送文化研究部は新座キャンパスで毎週金曜日5限後の3155教室で週1日活動をしています。

活動内容としては、主に6つです。アナウンス練習に加え、DJ、ラジオドラマ、映像などの作品作りや機材を扱うミキサー、他大学との関わりを持つ渉外活動など幅広く様々な経験が出来ます!

また、この部活では喋りのテクニックを図るDJライセンスや機材のテクニックを図るM&D(MIXER & DIRECTOR)ライセンスを取得出来ます。

1年生は夏合宿でそれぞれ3級を取得することを目標に日々練習に励んでいます。

入部時は初心者者が過半数ですが、みんな一定のレベルまで活動できるようしっかり教えるので大丈夫です!

そんな私達は現在2年生2人、1年生5人の少人数で、一緒に活躍出来るメンバーを大募集中です!自分の声を届けたい、自分に自信が持てるようになりたい、自分が好きな事をしたい、そんな方にオススメです!



学生会情報

平成29年度 学生会本部 副会長 福井 菜々子

ごきげんよう！柔らかな陽ざしに春を感じる今日の頃、皆様いかがお過ごしでしょうか。

11月29日に行われた学生会本部が主催する「洋食テーブルマナー講習会」では、過去最高人数の約180名の方にご参加頂きました。有名なホテルでの講習会は社会に出てから役立つので、私自身もおすすめの企画です。講師の方が各テーブルを回り、丁寧に教えてくださったので、美味しいお料理を楽しみながら頂くことが



出来ました。お越しくださった皆様、本当にありがとうございました。10月に行われる和食テーブルマナー講習会と共に、

来年度のご参加もお待ちしております。

そして、この洋食テーブルマナー講習会をもって、学生会の先輩方(3年生)が引退となりました。大変寂しい気持ちもありますが、先輩方の教えを受け継ぎつつ、成長できるよう学生会本部全体で努力して参ります。

今月18日には卒業式が行われ、先輩方(卒業生)が、

輝かしい未来に羽ばたいていけます。社会でもご活躍されることをお祈りしております。

4月にはフレッシュな新入生を迎えます！新たに跡見生となる新入生のため、新歓オリエンテーションの準備をしております。学生会本部の広報が、新入生歓迎オリエンテーション実行委員会として新たな企画をしてくれました。今までとは一味違った、新歓オリエンテーションとなることでしょうか。私たち学生会本部も、新入生対象の「学生生活相談会」を開催致します。大学生活に対する不安や悩みがある方は、ぜひご利用ください。一緒に解決策を見つけましょう。

私たち学生会本部は、跡見をより良い大学にできるよう精進して参ります。今後ともよろしくお祈り致します。



紫祭活動報告

第50回 紫祭実行委員長 小田垣 楓

11月4日、5日に行われた第50回紫祭、今年度は例年よりも多くの団体が参加し、「花笑み」というテーマに込めた「花が咲くように、笑顔の花を咲かせ、跡見らしい華やかな大学祭にしたい」という願いを、日頃の研究成果の発表や展示、ダンスの発表、模擬店などの様々な出し物を通して表現しました。

二日間とも晴天に恵まれ、野外ステージで行われたお笑いライブは大いに盛り上がりました。全44団体中、19団体がグラウンドに出店した模擬店では、焼きそばやフランクフルト、チュロスなど種類が豊富で、ご来場いただいた方々が美味しそうに食べている姿を見ることができました。また、今年は食品だけでなく、展示も外でやることによって常に盛り上がっているように見えました。紫祭実行委員会が毎年出店しているピタパンはお昼過ぎには完売してしまうほど大盛況でした。ありがとうございました。今年度は図書館での展示に力を入れ、特に1階の書道部の作品展示には多くのお客様が真剣に展示をご覧になっている様子でした。また、花蹊メモリアルホールでは今年初出展の谷本ゼミ2年の「はいからさんが通る」がテーマのファッションショーを行い、宣伝のためグラウンドに出ている姿が大変華やかで印象的でした。

後夜祭では毎年恒例の打ち上げ花火を無事に上げることができ、至近距離で見る花火に参加者全員が感動の思い出を作ることができたと同時に、テーマ「花笑み」の達成を実感しました。

学長先生をはじめ教職員の皆様、一紫会の皆様、地域の皆様、参加団体のみなさん、そして何より紫祭当日に新座キャンパスにお越しくださりました皆様のおかげで、今年度も紫祭を無事に終了することができました。この場をお借りして皆様へ心より御礼申し上げます。

来年は紫祭第51回、新たなスタートです。これまでの伝統を引き継ぎながらも新しい部分を取り入れ、より一層楽しい紫祭にいたします！今後ともご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。



英国国立スターリング大学との 中長期留学に関する協定の締結について

平成29年11月23日、英国国立スターリング大学より副学長(Malcolm Mac Leod氏)、推進部長(Kerry Bryson氏)、国際交流課長(Maria Cid-Castilla氏)等関係者が文京キャンパスへ来校し、本学学長と中長期留学に関する協定の締結調印式を行いました。本協定により、各学生の能力と希望に応じた、スターリング大学での半年から1年間の修学が可能となります。

本学はこれまで、夏期(4週間)、春期(7週間)の年2回スターリング大学において短期研修を数年に渡り実施し、300名以上の学生を派遣してきました。スターリング大学は英語を母国語としない外国人への英語教育に定評のある大学であり、短期研修参加者からも、さらなる英語力の向上のため、長期(半年以上)の留学を望む声が多く挙がっていました。また、協定締結以前にも10名におよぶ本学からの留学・大学院進学の実績があります。今回の協定締結はそのような学生の希望と実績、また大学全体のグローバル化を背景に実現しました。今後も学生のニーズに合わせ、各協定校との取組を充実させ、関係を強化してまいります。



跡見校友会一紫会海外研修助成金について

平成28年度春期英国国立スターリング大学研修参加学生(12名)、平成29年度夏期英国国立スターリング大学研修参加学生(12名)に対し、跡見校友会一紫会海外研修助成金が給付されました。本事業は、平成28年度夏期英国国立スターリング大学研修、国立政治大学研修(台湾)参加学生への支援から開始され、本年度で2年目となります。

跡見校友会一紫会海外研修助成金は、本学との協定に基づいて行われる海外研修において、特に優れた成果を修めた者に対し、その研修費用の援助を目的として給付されています。本学卒業生によって構成される一紫会は、後輩である在学生在がそれぞれの可能性をさらに広げ、将来的に様々な分野で活躍する女性となることを応援するため、本助成金を創設していただきました。給付対象となる研修、学生数は年度により異なりますが、今後も本助成金により、多くの学生が海外で学べる機会をご支援いただき、本学のグローバル化を積極的に進めてまいります。



《助成金対象学生:平成29年度夏期英国国立スターリング大学研修》
(松永エジンバラ総領事を囲んで)

春 期 海 外 研 修 の 紹 介

英国国立スターリング大学 (イギリス)

本学では、イギリス・スコットランドにある英国国立スターリング大学での研修を春・夏の年2回実施しています。本年度の春期研修は2018年2月11日～3月27日にかけて実施中で、12名の学生が参加しています。



平成29年度
春期英国国立スターリング大学研修の様子

ローワーコロンビアカレッジ (アメリカ)

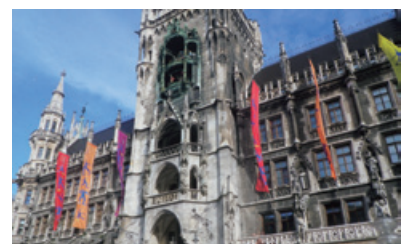
本研修は、本学、ワシントン州ロングビュー市姉妹都市委員会、ローワーコロンビアカレッジの三者と、ワシントン州・日米協会の協力を得て実施しています。今年度は2018年2月11日～3月7日にかけて実施され、12名の学生が参加しました。



平成29年度
ローワーコロンビアカレッジ研修の様子

ミュンヘン大学 (ドイツ)

本研修は、国際コミュニケーション協会とミュンヘン大学が共同で設置したコースを受講することで、ドイツ語を学ぶプログラムです。今年度は2018年2月11日～3月12日にかけて実施され、1名の学生が参加しました。



平成29年度
ミュンヘン大学研修現地の様子

就職課 Information ～就職部 就職課～

「平成29年度就職懇談会開催のご報告」

本年度の「就職懇談会」は、11月21日(火)の午後、企業様60社70名にご参加頂き開催されました。3月の就職活動広報解禁が定着しながらも、企業様の採用意欲が早期化している昨今、この就職懇談会は早い段階で学生との交流ができる場として、今年も本学の学生採用に意欲的な企業様にご参集頂きました。

文京キャンパスプロッサムホールでの第一部では、学長の挨拶、副学長による大学の現況説明に続き、就職部長から本学の就職の現状並びに就職支援プログラムについて説明しました。引き続き学生発表として、本年度就職課として初の試みとなった、「PBLプログラム」に参加した学生全6チームの中で、上位2チームによる成果発表がなされました。「従業員がワクワク、イキイキ働ける会社にしていくためには、どういう取り組みが必要でしょうか」というテーマについて、学生の視点から実現可能なプランを提案しました。実際に企業様からは、「是非当社でも採用してみたい」、「我が社でプレゼンして欲しい」というお声も頂戴することができ、大変好評でした。

そして、嘉ノ雅“茗溪館”に場所を移した第二部では、理事長をはじめ学園の役員のご出席を賜り、企業様と学生を含めた学園関係者との懇親を深めることができました。

特筆する点として、今年参加の学生はとても積極的であり、多くの学生が自発的に企業の皆様に話しかけていました。人事のご担当者様と情報交換をしている姿はとても頼もしく、学生の皆さんも企業の皆様から様々な“気づき”が得られたことと思えます。

今後も就職部就職課では、企業様との積極的な交流を通じて、より強固な関係を築いていくよう努力してまいります。学園関係者を始め、皆様方のより一層のご指導、ご支援宜しくお願いたします。



「就職戦線スタート！3月より3年生の就職活動が本格化！」

3月に入り、いよいよ就職活動の広報活動解禁となりました。多くの3年生がリクルートスーツに身を包み、外部で開催される企業説明会に、積極的に参加しています。

就職課では、毎年12月から3月にかけて「ATOMIキャリアフォーラム」と題し、学内に企業様をお呼びして、業種・業界研究会を開催しています。この期間100社を超える企業様にご参画頂き業界のことやその企業の特徴を直接ご説明頂くことで、学生の“就活ギア”が入ります。2月22日(木)には、「キャリアセミナー8～決起集会～」を開催し、3月以降の活動のアドバイスと共に、就職課そしてATOMI就活サポーターズの先輩からのエールが送られました。参加した3年生の期待と不安が入り混じった表情に、就活に対する真摯な姿勢を感じました。

2019卒の就職戦線は引き続き売り手市場と言われていますが、AIの導入による業務効率化により、学生一人一人の質を更に問われることが予想されます。就職課として学生と共に就職戦線を乗り切るべく、様々な面で引き続きサポートを強化してまいります。



平成29年度

各種研究助成報告

平成29年度 外国出張助成 採択状況

所属	氏名	職位	目的	出張先	出張期間
文学部	阿部 一哉	准教授	研究	ドイツ、タイ	H29.9.1~9.15 (15日間)
文学部	藤崎 康彦	教授	研究	中華民国(台湾)	H30.3.9~3.19 (11日間)
文学部	横山 太郎	准教授	学会	ポルトガル	H29.8.28~9.4 (8日間)
観光コミュニティ学部	種田 明	教授	研究	スウェーデン	H29.8.10~8.22 (13日間)

平成29年度 特別研究助成費

単位：円

所属	氏名	職位	研究課題	採択額
文学部	岩本 憲司	教授	春秋左氏伝の成立	400,000
文学部	酒井 佳永	准教授	エンパワメントスケール日本語版の作成および気分障害患者を対象とした信頼性と妥当性の検討	742,000
文学部	副島 善道	教授	聖域の定量性の調査による空間概念の研究	1,262,000
文学部	寺本 敬子	講師	明治期における日仏間の人的ネットワークの形成	850,000
文学部	宮崎 圭子	教授	メールカウンセリングの効果検討	1,210,000
観光コミュニティ学部	土居 洋平	准教授	長野原町の観光とコミュニティに関する総合的研究	1,000,000

平成29年度 学術出版助成 採択状況

単位：円

所属	申請者	職位	出版物タイトル	助成費
マネジメント学部	許 伸江	准教授	産業クラスターの進化とネットワーク -ファッション産業クラスター「東大門市場」と「原宿」の比較制度分析-	1,000,000

平成29年度 科学研究費助成事業

単位：円

所属	氏名	職位	研究種目	研究課題名	H28直接経費
文学部	石田 信一	教授	基盤研究(B)	バルカン諸国の歴史教育から見た紛争と 和解の研究	2,400,000
文学部	安本 真弓	准教授	基盤研究(C)	現代中国語における可能表現の学習効果 -導入及び習得データに基づく実証分析	900,000
文学部	要 真理子	准教授	基盤研究(C)	英国地方都市における前衛美術運動 -リーズ・アーツ・クラブの軌跡	1,100,000
文学部	新井 雅	講師	基盤研究(C)	心理専門職による研究知見の効果的生成・ 臨床的活用・社会発信に関する研究	800,000
文学部	酒井 佳永	准教授	基盤研究(C)	軽躁チェックリスト他者評価版を用いた効果 的な双極性障害のスクリーニング法の開発	900,000
マネジメント学部	鷹 咲子	教授	基盤研究(C)	大規模災害で被災した子どもの貧困防止策 -給付の在り方を中心として	600,000
観光コミュニティ学部	佐野 美智子	教授	基盤研究(C)	これからの消費社会に適合する消費者心 理指標の構築	100,000
観光コミュニティ学部	霧 理恵子	教授	基盤研究(C)	原発事故後を生きる有機農業者の生活再建 と地域コミュニティ再生のエスノグラフィー	1,000,000

平成29年度マネジメント学部FDへの取組 (FDワークショップ活動報告)

マネジメント学部教育・研究支援委員会FD担当 石塚 正敏

マネジメント学部においては、①教育・研究活動について教員相互に討論・研鑽する場として、②学部全体として取組む各種行事における諸問題の解決・発展を図るための場として、また、③新採用教員に対する研修の場として、毎年度FDワークショップを開催しています。例年、春学期・秋学期の年2回開催でしたが、近年は6月、11月、3月の年3回開催と充実させています。

平成29年度におけるFDワークショップの運営に関する基本方針は、従来行ってきた先進的・発展的なゼミ授業の事例紹介だけでなく、全員参加型のpeer review的な授業紹介を実施することとし、授業運営における基本的コンセプトや取組み上の工夫などの発表が行われています。

第1回ワークショップ(6月)では、1)宮崎正浩学部長による基調講演「マネジメント学部はPDCA試行にどう取組むか」(大学基準協会から求められている内部質保証への学部としての取組み方針)と、2)ゼミ授業運営上の取組みと工夫：櫻川ゼミ(マネジメント学科・実践ゼミナール)及び村田ゼミ(生活環境マネジメント学科・生活環境マネジメント学演習)の発表と討論を実施しました。第2回ワークショップ(11月)では、1)ゼミ授業運営上の取組みと工夫：石塚ゼミ(生活環境マネジメント学科・生活環境マネジメント学演習)、崔ゼミ(マネジメント学科・展開ゼミナール)及び曾田ゼミ(マネジメント学科・実践ゼミナール)の発表と討論が、2)許学務委員から「シラバス作成上の留意点」に関する指導が行われました。第3回ワークショップは3月に実施予定です。

平成29年度 学内講演会等 開催報告

全学共通科目運営センター

●平成29年度全学共通科目運営センター主催 FD研修会

日時：平成29年11月8日(水) 13:00~14:30
 場所：新座キャンパス 図書館視聴覚ホール
 テーマ：授業のベストプラクティスについてⅡ
 司会：マネジメント学部 鷹 咲子教授(マネジメント学科)
 発表：1.文学部
 寺本敬子講師(人文学科)「フランス語などの工夫」

2.マネジメント学部
 佐藤敦教授(マネジメント学科)「職業人のルールとモラルなどの工夫」
 3.観光コミュニティ学部
 篠原靖准教授(観光デザイン学科)「プロゼミなどの工夫」
 4.文学部臨床心理学科
 阿部洋子教授(臨床心理学科)「家族心理学などの工夫」
 5.質疑応答
 参加者数：31名

文学部

●文学部FDワークショップ

日時：平成29年6月28日(水) 13:00~14:30
 場所：新座キャンパス2282教室
 テーマ：新「文学部」教育の未来
 一学生を輝かせる文学部の「教養」とは何か
 発表者：小川忠教授(人文学科)
 「文学部で国際学をいかに教えるか」
 要真理子准教授(現代文化表現学科)
 「異分野への関心を拓くー他学部・他学科の学生との交流のなかでー」

吉田さち講師(コミュニケーション文化学科)
 「ことばへの意識を問直すことー日本語コミュニケーション
 関連科目における実践と今後の課題ー」
 宮岡佳子教授(臨床心理学科)
 「臨床心理学に必要な教養とはー理解と実践のためにー」
 参加者：文学部教員27名、
 観光コミュニティ学部教員1名 計28名

大学院人文科学研究科

●日本文化専攻主催 異文化交流フォーラム

◆第20回(通算)◆
 日時：平成29年6月24日(土) 15:00~17:30
 場所：文京キャンパスM2802教室
 テーマ：パリ万博と日仏交流

講師：寺本敬子講師(人文学科)
 川上恵氏(渋沢資料館学芸員)
 参加者：日本文化専攻所属教員4名、他学科教員1名
 大学院日本文化専攻所属学生5名、学部学生1名、
 外部関係者2名、講師2名を含め計15名

●日本文化研究フォーラム(※)

◆第1回◆
 日時：平成29年12月1日(金) 16:40~18:10
 場所：文京キャンパスM2802教室
 テーマ：日本近代における「美術」ジャンルの形成
 講師：北澤憲昭氏(本学兼任講師)

参加者：日本文化専攻所属教員4名、人文学科教員2名、
 元本学教員1名、大学院日本文化専攻所属学生5名、
 学部学生1名、講師1名を含め計14名
 ※より院生の専門に近いテーマを取り上げて議論を深めるために、異文
 化交流フォーラム→日本文化研究フォーラムと名称変更した。

マネジメント学部

●マネジメント学部主催 第1回FDワークショップ

日時：平成29年6月28日(水) 13:00~14:30
 場所：新座キャンパス3156教室
 テーマ：マネジメント学部PDCA試行にどう取り組むか
 発表者：宮崎正浩教授(生活環境マネジメント学科)

テーマ：ゼミ授業運営上の工夫
 発表者：櫻川幸恵准教授(マネジメント学科)
 村田あが教授(生活環境マネジメント学科)
 参加者：20名

●マネジメント学部主催 第2回FDワークショップ

日時：平成29年11月22日(水) 13:00~14:30
 場所：新座キャンパス3156教室
 テーマ：ゼミ授業運営上の工夫
 発表者：石塚正敏教授(生活環境マネジメント学科)

崔勝渾教授(マネジメント学科)
 曾田修司教授(マネジメント学科)
 テーマ：シラパス作成上の留意点
 発表者：許仲江准教授(マネジメント学科)
 参加者：19名

●マネジメント学部主催 キャリアデザイン講演会

日時：①平成29年11月21日(火) 16:30~18:10
 ②平成29年12月1日(金) 16:30~18:10
 場所：①②新座キャンパス 花咲メモリアルホール
 講師：①高岸 睦美(株式会社集英社 第6編集部部長)

②川邊 彌生(合同会社オモテナシズム 代表社員・MBA(経営管理士))
 木村 奈月(株式会社スタートトゥデイ 想像戦略部)
 テーマ：①②「自分らしい素敵な生き方を送るために」
 参加者：①113名 ②77名

観光コミュニティ学部

●観光コミュニティ学部 FD講演会

日時：平成29年7月26日(水) 13:00~14:30
 場所：図書館視聴覚ホール
 テーマ：①「一旅館業経営者が体験した3・11戦記」ーいわき湯本温泉騒動記
 ②「企業・コミュニティの存続をあらかじめ考える
 BCP(ビジネスコンテニューイティプラン)入門」

講師：①小井戸英典氏
 (福島いわき湯本温泉こいと旅館、代表取締役福島県旅館業
 環境衛生同業組合理事)
 ②鍵屋一教授(コミュニティデザイン学科)
 参加者：13名

その他講演会

●平成29年度図書館、情報メディアセンター、全学教育・研究支援委員会主催

第2回FD/SD研修会
 日時：平成29年6月28日(水) 14:40~16:10
 場所：新座キャンパス 図書館LALA3
 テーマ：ラーニングコモンズ[LALA]における新しい学びの可能性
 ーID(インスタラクションナル・デザイン)の授業実践ー

司会：図書館長、情報メディアセンター長 植松貞夫教授(人文学科)
 発表：1.デモ授業「統計学入門」30分
 受講対象：学生9名、職員6名
 2.デモ授業「統計学入門」とその授業デザイン(解説)、
 質疑応答 45分
 対象：教員24名、職員6名

<情報メディアセンター主催>

●教職員対象研修会「PDFのトリセツ」~知らずに情報漏洩していませんか?~

日時：平成29年11月22日(水)
 ①10:40~11:50 ②13:00~14:00

場所：新座キャンパス図書館視聴覚ホール、
 文京キャンパスM2308講義室(中継)
 講師：アドビシステムズ株式会社 富崎太一氏
 参加者：41名

<保健センター主催>

●平成29年度教職員のためのカウンセリング研修会

日時：平成29年7月5日(水) 14:40~16:10
 場所：新座キャンパス 図書館視聴覚ホール、
 文京キャンパスM2308(中継)
 演題：「障害者差別解消法と発達障害学生に対する合理的配慮」
 講師：五味洋一先生(筑波大学ダイバーシティ アクセシビリティ
 キャリアセンターアクセシビリティ部門 准教授)

内容：障害者差別解消法(平成28年4月1日施行)がスタートし、
 大学として障害学生の支援を行うために教職員に向けて次の
 内容で講演いただいた。
 ①合理的配慮の提供。
 ②学生との調整や支援を実施するための全学的な体制整備。
 ③高等教育の質を維持しつつ学ぶ機会の確保。
 ④理解促進・意識啓発の取組。
 参加者数：87名

平成29年度文の京ゆかりの文化人顕彰事業 「朗読コンテスト」

(文京区主催、本学主管)

本コンテストは文京区と連携し、朗読者に発表の場を提供するとともに、文化活動の一層の促進、また青少年部門においては朗読への関心を醸成することを目的として平成24年度から開催しています。第一次審査は、NHK放送研修センター日本語センターにお願いしています。

今年は夏目漱石をテーマに「吾輩は猫である」、「坊っちゃん」、「夢十夜」、「三四郎」、「それから」、「こころ」の6作品を選定しました。

北は北海道から南は九州まで総数294名(一般165名、青少年129名)の応募があり、本選の観覧者も452名の応募がありました。

本選は、台風接近に伴う悪天候の中で10月29日(日)に本学プロッサムホールにて行いました。録音審査を経た16名(一般の部10名、青少年の部6名)が情感豊かに素晴らしい朗読を披露してくれました。

本選審査には、広瀬修子氏(元跡見学園女子大学教授、元NHKアナウンサー)、伊藤文樹氏(NHK放送研修センター日本語センター専門委員)、森進一氏(文京区教育委員会教育指導課 統括指導主事)の3名をお願いし、受賞者6名(最優秀賞部門別1名、優秀賞部門別2名)を選出いただきました。

本コンテストにあわせて本学所蔵の夏目漱石初版本の展示、紫音会アンサンブルによる演奏、またこれまでの朗読コンテストで最優秀賞を2回受賞された小堀望氏に今年生誕150年にあたる幸田露伴の作品を朗読していただきました。



本学のネットワーク セキュリティについて

ここ数年、標的型攻撃メールにより企業・団体等の重要情報が盗まれる事件が頻発しています。教育機関も例外ではないため、本学でも各サーバの監視を強化し、危険なウェブサイトの自動ブロック、ランサムウェア対策、大規模感染予防対策等の設定を厳格化しました。しかし、コンピュータウイルスはメールの添付ファイルに潜んで学内へ侵入するため、ウイルス対策ソフトでは検出されません。

そこで、偽装メールや実行ファイルが添付されたメールのブロック、スパムメールの自動判定・振り分け等、入口対策を強化したところ、迷惑メールや怪しいメールは激減しました。また、学内から学外への通信に危険なものはないかも監視しています(出口対策)。

教職員に対しては、**セキュリティ研修会を開催しました(11月22日)**。今回のテーマはPDF(Portable Document Format)。第三者によるデータ改ざんや情報漏洩を防止するために、PDFの仕組みと編集権限等のセキュリティ対策について理解と知識を深めました。

本学は今後もセキュリティ強化に努めます。

地域交流活動のご報告 — 深化する地域とのつながり —

地域交流センター長 土居 洋平

地域と大学が連携して行う活動は、関係が一度で途絶えるものではありません。多くの場合、継続的に活動を重ねながら関係性が次第に深まり、地域と大学の双方にとって、より有益なものへと発展していきます。場合によっては、一つの地域交流活動がきっかけで新たな地域交流活動が生まれることもあります。今回は、そうした地域交流活動が発展的に展開している事例を中心に、秋以降の本学の地域交流活動を簡単に紹介しましょう。

【朝顔ほおずき市～町会の地域行事への参加】

前号(学報92号)でお伝えしましたとおり、7月22日～23日にかけて文京区礪川地域において開催された「第32回 朝顔ほおずき市」に本学から多数の学生が参加しました。このイベントの反省会が8月初旬に開催されましたが、当日の学生の活躍が評価されたこともあり、本学学生と隣り合わせとなった小石川表町会の方から「是非町会行事にも協力を頂きたい」旨、お声がけを頂くことができました。

その後、9月16日の白山神社例大祭に合わせた町会行事(ふれあいパーティー)や12月10日の餅つき大会に学生が参加し、地域の方々との交流をさらに深めています。礪川地区全体の大きな行事だけではなく町会単位の行事に学生が参加することで、町会役員だけではなく地域の方々や学生が直接触れ合う機会も増し、地域の方々や学生たちの交流も更に深まっています。

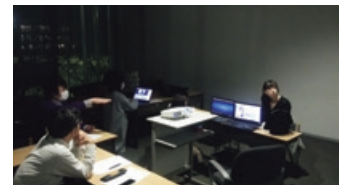
【B-ぐる映像制作～B-ぐる友の会との共同出店】

本学では、地域交流センターの呼掛けで集った学生有志が、文京区コミュニティバスB-ぐるの車内で流れる地域紹介の映像を制作しています。今年度も既に2作品(1作品10～20分)が制作され車内で公開されているほか、現在、4月からの映写予定の作品が完成しつつあります。この活動は「B-ぐる友の会」からの依頼で行なわれているものですが、日常的に映像作品の企画・編集で関係性が深まっていった結果、B-ぐる友の会の様々な企画に学生が関わるようになりました。その結果、現在では「B-ぐる友の会×跡見学園女子大学」という形で、文京区内の各種イベントに出店するに至っています。

このように、一つの地域交流活動から様々な活動が展開しつつあります。秋以降、高齢者と学生が交流しながら区内を巡る健康まち歩き(10月28日)が行われたほか、文京区いきいきシニアの集い(11月25日、26日)、国内交流フェスタ2017(12月8日、9日)といった区内のイベントの運営に多くの学生が関わっています。こうした活動も、回を重ねるごとに関係性が深まり、新しい動きへとつながることでしょう。跡見生の地域での活動に、益々ご期待ください。



小石川表町会餅つき大会(12月10日)の様子



B-ぐる映像制作・編集会議(12月13日)の様子



文京区ボランティア祭り(11月18日)にB-ぐる友の会と共同出店

平成29年度心理教育相談所関連事業

1 一般向け講習会

【新座キャンパス】

- 7/8(土) 「元気の素を考える」 講師：松崎くみ子
 7/15(土) 「大人の発達障害を理解する」 講師：宮岡佳子
 9/1(金) 「もしも身近な人が「うつ」になってしまったら？」
 講師：酒井佳永
 9/8(金) 「自分でできるストレス・マネジメント 一ストレスの
 自己診断と対処法一」 講師：中野敬子
 9/16(土) 「不登校の子どもの理解と関わり方」
 講師：野島一彦

【ATOMIさくらルーム】

- 1/25(木) 「もしも身近な人が「うつ」になってしまったら？」
 講師：酒井佳永
 2/1(木) 「自分でできるストレス・マネジメント 一ストレスの
 自己診断と対処法一」 講師：中野敬子
 2/8(木) 「元気の素を考える」 講師：松崎くみ子
 2/17(土) 「大人の発達障害を理解する」 講師：宮岡佳子
 2/22(木) 「不登校の子どもの理解と関わり方」
 講師：野島一彦

2 不登校を考える親の会

- 新座キャンパス＝第1・第3金曜日 10:00～12:00
 (平成30年4月より第1・第3木曜日)
 文京分室ATOMIさくらルーム＝第2・第4木曜日
 13:00～15:00
 担当：野島一彦

3 ふれあいカフェ

- 7/1(土)、1回開催 担当：宮岡佳子
 地域高齢者の心の健康支援を目的とした高齢者と学生との交流会です。臨床心理学宮岡佳子教授が企画し、平成25年より始まり今回で13回目となりました。今年度は初めての試みとして学生寮(メゾン音羽)で行い、臨床心理学学生だけでなく寮生(6学科)も加わりました。学生がお茶やお菓子のサービスをしながら、おしゃべりを楽しみ、学生企画の歌やゲームをして盛り上がりました。寮生には会場設営、歌の企画等入念に準備してもらい、大変好評でした。参加者は、目白台交流館で活動する高齢者の方24名、学生14名、寮長1名、職員3名、教員1名の43名でした。アンケート結果から高齢者の満足度は高く、学生たちも、高齢者理解、人を支援すること、コミュニケーションの大切さを学ぶことができました。

図書館トピックス

貴重コレクションを 学生と図書館でアピールする！

～「第11回図書館と埼玉県民のつどい」にて～

平成29年12月17日(日)桶川市民ホールさいたま文学館で「第11回図書館と県民のつどい」が開催されました。本学図書館も例年このイベントに参加しています。

図書館は所蔵する3,000点におよぶ百人一首コレクションを、学生と一緒に競技かるたという形でパフォーマンスし、アピールしました。小さいお子さんからお年寄りまで、一緒に楽しむ中で百人一首の楽しさを共有しました。

また当日は、講演をされた作家の柚木麻子さんもブースを訪ねていただき、一緒にかるた取りを楽しんでいただきました。



4 ATOMIさくらルーム おしゃべりたいむ

- 毎月2～3回 13:15～14:00開催(担当者1名)
 担当：松崎くみ子、酒井佳永、宮岡佳子
 妊婦及び乳幼児の母親を対象に、平成28年6月より八千代助産院おとわバースにて「おしゃべりたいむ」を開催しています。
 日頃感じていることや、困っていることなど、自由に話し合うことを通して、こころの健康支援を目指しています。

保護者説明会・後援会大学幹事会報告

今年度の「保護者説明会」は8月26日(土)宇都宮会場、9月3日(日)新潟・高崎会場、10月14日(土)文京キャンパスにて開催し、4会場あわせて約410名の保護者の方にお越しいただきました。

文京キャンパスではまず全体説明会を実施し、本学の教育や進路支援の状況を学長・副学長・学部長をはじめ学部学科、各部局の教職員より説明をいたしました。続いて「各学科内容・履修関係」「学生生活(奨学金・クラブ活動等)」「国際交流」「就職・進路」「就職内定者と語ろう」の各ブースで個別相談を行いました。「就職・進路」「内定者と語ろう」のブースは毎年盛況で、就職や進路に対する保護者の方の関心の高さがうかがわれます。また、待ち時間に参加できる「キャンパス見学ツアー」も学生の案内で随時開催されました。次年度は6月16日(土)文京キャンパス、6月30日(土)高崎会場にて保護者説明会を開催する予定ですので、多くの方にご参加いただければと思います。

11月25日(土)に文京キャンパスで開催された「後援会大学幹事会」には、後援会幹事28名が出席されました。大学からは学長、両副学長、各学部長、教務部長、学生部長、入試部長、就職部長、全学共通科目運営センター長、図書館長、事務局長、事務局次長が出席し、大学の現状や取り組みの報告をいたしました。質疑応答では出席された大学幹事の皆様より貴重なご意見・ご指摘をいただき、今後の大学運営において非常に有意義な会となりました。

平成30年度 花咲記念資料館展示スケジュール

期 間	展覧会名・展示室 1	展覧会名・展示室 2
2018		
4月 2日(月)～ 5月 28日(月)	「跡見花咲春の名品展」	「跡見純弘新コレクション展」
6月 18日(月)～ 7月 31日(火)	「近現代絵画収蔵品展」	
9月 19日(水)～ 11月 6日(火)	「秋の収蔵名品展」	「跡見花咲の横顔展」
11月 26日(月)～ 12月 22日(土)	「跡見ゆかりの人々の墨書展」	「第12回 跡見OG書道展」
2019		
1月 26日(土)～ 2月 6日(水)	博物館実習生模擬展示	
3月 12日(火)～ 3月 30日(土)	「春の収蔵名品展」	

※展示期間、展示内容は変更することがあります。

新年度オリエンテーション予定

●学部 新1年生対象

4月2日(月)	学生寮オリエンテーション(入寮者のみ対象) ひとり暮らしのガイダンス
3日(火)	入学式・新入生説明会 (午前:文学部・心理学部、午後:マネジメント学部・ 観光コミュニティ学部) <マネジメント部> グループミーティング <観光コミュニティ学部> 学部・学科ガイダンス・グループミーティング
4日(水)	<マネジメント部・観光コミュニティ学部> 健康診断 <文学部・心理学部> 進路ガイダンス・学生生活ガイ ダンス・履修ガイダンス・学科ガイダンス・グループミー ティング・資格課程ガイダンス(文学部のみ)
5日(木)	<文学部・心理学部> 健康診断・資格課程ガイダンス・個別面談 <マネジメント学部・観光コミュニティ学部> 進路ガイダンス・学生生活ガイダンス・履修ガイダンス・ グループミーティング・資格課程ガイダンス・個別面談・ 社会調査士課程ガイダンス(観光コミュニティ学部のみ)

●学部 新2年生対象

4月4日(水)	<文学部> 進路ガイダンス・学生生活ガイダンス・履修ガイダンス・ 学科ガイダンス・グループミーティング・個別面談・健 康診断
5日(木)	<マネジメント学部・観光コミュニティ学部> 進路ガイダンス・学生生活ガイダンス・履修ガイダンス・ グループミーティング・個別面談・健康診断・学科ガイ ダンス(観光コミュニティ学部のみ)

●学部 新3年生対象

3月30日(金)	<文学部> 健康診断・進路ガイダンス・学生生活ガイダンス・履 修ガイダンス・学科ガイダンス・グループミーティング・ 個別面談
31日(土)	<マネジメント学部・観光コミュニティ学部> 健康診断・進路ガイダンス・学生生活ガイダンス・履 修ガイダンス・グループミーティング・個別面談 <観光コミュニティ学部のみ> 資格課程ガイダンス・学科ガイダンス

●学部 新4年生対象

3月30日(金)	<文学部> キャリアセミナー・学生生活ガイダンス・履修ガイダンス・ 学科ガイダンス・グループミーティング・個別面談・健 康診断
31日(土)	<マネジメント学部・観光コミュニティ学部> キャリアセミナー・学生生活ガイダンス・履修ガイダンス・ グループミーティング・個別面談・健康診断

●大学院生対象

3月31日(土)	<マネジメント研究科のみ(文京キャンパス)> 健康診断・履修ガイダンス(2年生)・専攻ガイダンス (2年生)
4月3日(火)	<両研究科新1年生のみ(新座キャンパス)> 入学式・専攻説明会他(午前:人文科学研究科、午後: マネジメント研究科)
4日(水)	<人文科学研究科のみ(新座キャンパス)> 健康診断・履修ガイダンス(2年生)・専攻ガイダンス (2年生)

◆春の行事予定◆

3月	18日(日)	第50回学部卒業式・第12回大学院修了式
	19日(月)	謝恩会
	24日(土)	桜まつり(一般公開)
4月	3日(火)	第54回入学式
	6日(金)	春学期通常授業開始

●履修申請●

●Web履修登録申請期間

- 1次 <2・3年生> 4月6日(金)、7日(土)
<1・4年生> 4月9日(月)、10日(火)
- 2次 <全学年> 4月13日(金)、14日(土)

●履修登録状況(抽選結果)発表

4月13日(金)、18日(水)

●履修登録訂正手続期間 4月18日(水)、19日(木)

桜まつり
オープンキャンパスのご案内

3月24日(土) 新座キャンパスにて開催

桜まつり 開催時間 10:30～14:30	予約 不要	オープンキャンパス 開催時間 10:00～15:00
-----------------------------	----------	----------------------------------

毎年行われている桜まつりでは、46種196本もの桜*
をお楽しみいただけます。学生団体による展示や地元
銘菓・野菜の販売等が行われる予定です。図書館や資料
館の見学もできます。また、3月1日(木)～5月15日(火)
の期間は、桜鑑賞のため構内を一般開放しております。
受験生向けのオープンキャンパスでは、学食体験や体
験授業など楽しい企画をたくさんご用意しております。
どちらも予約不要ですので、お気軽にお越しください。
皆さまのご来校を心よりお待ちしております。

※時期により咲いていない桜もございます。

●編集後記●

今号は、大学の今年度の活動や取組を中心にご紹介しました。
今、新座キャンパスを見わたせば、早咲きのサクラがチラホラ
咲きはじめています。これからサクラが満開になるまでに、
“旅立ちがあり”、“出会いがあり”、そして、新たな一年がはじ
まります。満開のサクラも応援してください。
さあ、“花咲け、あとみ!”